

諏訪大神春季大祭

笹川の神楽日程表

「笹川の神楽」は例年4月の諏訪大神春季例大祭の時に、境内の神楽殿で奉納される十六座神楽です。建久2年（1197年）千葉成胤が、源頼朝の武運長久を祈願し神楽を奉納したのがはじめと伝えられ、近郷でも名高く、昭和40年2月27日に「千葉県無形民俗文化財」に指定されました。神楽の奉納は、笹川地区7つの区が回り番で担当し、7年毎に当番となった区の青年達が、先輩の教えを受けて舞台に立ちます。今年の当番は仲内区です。

| 時間 | 役名 | 内容 | 踊子 |
|-----------------|-------|--|------------------------------------|
| 11:20 ～11:50 | 神子 | 10歳前後の女兒（稚児）によって行われる榊舞 | 高橋 優芽 山内 莉々子 鎌形 ひまり 竹蓋 咲空 |
| 12:00 ～13:30 | 猿田彦大神 | 道祖神。笏を手に四方固め、刀を手に米を切り、印を結ぶなどして天狗飛び。 | 鎌形 赴史 |
| 13:30 ～14:00 | 三方荒神 | 道祖神、猿田彦大神の一派である。棒ふりの四方固め。 | 高橋 利昌 |
| 14:10 ～14:45 | 神子 | 10歳前後の女兒（稚児）によって行われる幣束舞 | |
| 14:50 ～15:45 | 天兒屋根命 | しめ縄をない、天岩戸に張り巡らす舞 | 加藤 忠 |
| 14:50 ～15:45 | 天太玉命 | 〃 | 高橋 大雄 |
| 15:20 ～15:40 | 乙女之命 | 通称「おかめ」の舞。（宇受女之命の場面をこの演目で表している。） | 上川 潔 |
| 15:45 ～16:05 | 手力雄之命 | 天岩戸を開く力強さを棒により演ずる舞 | 石原 一雄 |
| 16:05 ～16:15 | 榊原之命 | （日輪、月輪）扇の舞 | 高木 雅史 |
| 16:15 ～16:45 | 八幡大神 | （八幡太郎義家）エゾ退治弓矢の舞。 | 山本 貴夫 |
| 16:50 ～17:30 | 神子 | 10歳前後の女兒（稚児）によって行われる扇合わせ。 | |
| 17:35 ～18:15 | 宇受女之命 | 扇と鈴による美女の舞。（このすばらしい舞が神楽の始まりである。） | 安藤 俊明 |
| 18:15 ～18:50 | 蛭子之命 | 恵比寿。鯛釣りの舞。 | 中嶋 英介 |
| 18:15 ～19:10 | 御供 | 蛭子之命が釣った鯛を見物人に投げるひょっとこの舞。 | 高橋 勇也 |
| 19:10 ～20:00 | 稻荷大神 | 農耕の神 商売繁盛の神 たすき舞、幣束舞、鉞踊りと、いろいろと変化する舞。 | 平塚 翼 |
| 19:30 ～20:15 | 狐 | 稻荷大神のお供をして、最後に団子、キツネのしっぽをなげる舞。 | 高橋 健一 |
| 19:40 ～20:00 | 種時之命 | 稻荷大神付の農耕の神 稲の種をまく舞には、稻荷大神ときつねの協力もある。 | 滑方 利明 |
| 20:15 ～20:45 | 受持之命 | 棒を手にして五穀成就の謡と四方固め。 | 高木 学 |
| 21:00 ～21:45 | 素盞鳴尊 | 天照大神の弟神 神剣（真剣）で行う八岐の大蛇退治の場面をしめ縄を切る舞によって演じている。 | 山本 誠司 |

（令和2年4月）

発行：東庄町観光協会